

編集
発行

社会福祉法人 群馬県社会福祉協議会

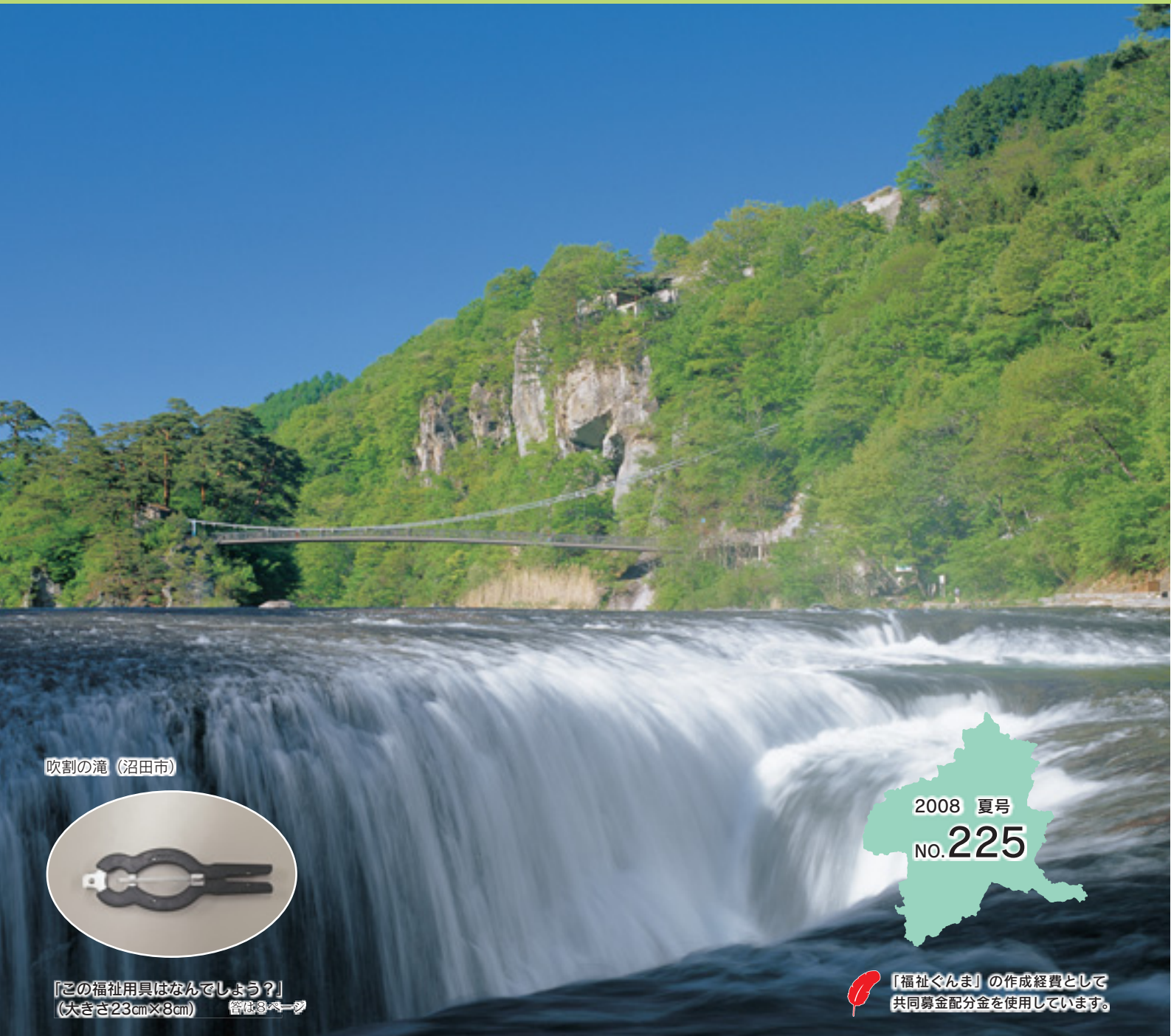
〒371-8525 (専用郵便番号)
群馬県前橋市新前橋町13-12
群馬県社会福祉総合センター内
TEL 027-255-6033(代表) FAX 027-255-6173
U R L <http://www.g-shakyo.or.jp/>
E-mail soumu@g-shakyo.or.jp
発行日 平成20年7月31日

福祉 ぐんま

特集：私たちの施設は
第三者評価を受けました！

■主な内容

平成19年度事業報告決算概要	4
福祉協力校	6
第17回全国ボランティアフェスティバルにいがた	6
ぐんまボランティアフェスティバル西部ブロック	6
ねんきん特別便	7
介護職員等確保対策事業のお知らせ	8



吹割の滝 (沼田市)



「この福祉用具はなんでしょう？」
(大きさ23cm×8cm) 価格は8ページ

2008 夏号

NO.225



「福祉ぐんま」の作成経費として
共同募金配分金を使用しています。

特集

私たちの施設は、第三者評価を受けました！
 福祉サービス第三者評価事業について

平成十六年度より、群馬県社会福祉協議会では第三者評価の推進組織である「福祉サービス評価推進センターぐんま」を設置して社会福祉施設における福祉サービス第三者評価事業を推進しています。平成二十年七月現在、県内の三十五の施設が第三者評価を受審しています。↓(別表参照)
 福祉サービス第三者評価事業の目的とは：

『個々の事業者が事業運営における問題点を把握し、サービスの質の向上に結びつけること。』
 なお、福祉サービス第三者評価を受けた結果が公表されることにより、結果として利用者の適切なサービス選択に資するための情報となること。』とされています。しかし、受審にあたっては、職員全員による自己評価の実施、マニュアル・規程類等の整備及び共通認識の醸成等、施設の体制整備が必要となります。その分、得るものも多いのでは……
 今回は第三者評価を受審した施設の状況をご紹介します。

★園長 深町 穰 さん



赤城育心保育園の
 取り組みから



平成十八年度に受審した赤城育心保育園(前橋市)の園長の深町さんと主任保育士の塩月さんに第三者評価について、お話しを伺いました。

Q「受審の動機は？」
 先進性をアピールしようと思
 い受審したのですが、得るもの
 は大きかったと思っています。
 Q「効果は？」

自己評価において、各種規程
 やマニュアル等を整備したので
 すが、自分たちにとって必要な
 ものを職員間で検討して作成す
 ることができ、非常に実のある
 作業であったと思っています。
 そして、そのことにより、職員
 間での話し合いや協力し合うこ
 とが習慣化されたように感じます。
 また、私自身も含めて、ミッ
 ションの再確認ができたのでは
 ないかと思っています。法人や

園の理念や基本方針を見直し、
 新たに理解することができ、子
 どもの最善の利益に寄与した
 「保育のあり方」についての再
 認識ができたと感じています。
 Q「課題は？」

課題は今後、自分たちで作っ
 てきたものを見直す作業が膨大
 であるということでしょうか。

★主任保育士 塩月恵里さん



Q「現場の保育士として…」

第三者評価を受審するという
 話を聞いたときは戸惑いました。
 大変だろうということ、保育
 にとつて必要なものなのかとい
 う思いがありました。

しかし、赤城育心保育園の標
 準的な保育のマニュアルを作成



する作業や職員間での様々な
 話し合いの中から、皆で一つ
 の目標に向かっていくという
 達成感や職員間の連携がとて
 も深まったと感じています。

Q「マニュアルの抵抗感？」

保育士によって対応が違
 と子どもが戸惑うことにもな
 るので、共通認識を図るため
 にもマニュアルは必要だと感
 じました。

Q「保育に何か変化は？」

何か起きたときでも、子ど
 もの最善の利益を考えたい行動
 が職員にできるようになりま
 した。まだまだですが…。
 そして、「変える」ことに対
 しての抵抗が無くなったこと

も大きな成果だと思えます。
 保育内容を見直し、より高め
 ていくための「改善すること」
 の大切さを学べたと思ってい
 ます。

受審施設のコメント
 より(抜粋)

身体障害者寮護施設
 改善に向けて

評価の結果としては、一部改
 善を要する面が提訴されました
 ので、今後これらを改善課題と
 考え、求められる質の高い施設
 運営・利用者サービス提供とす
 べく努力いたします。

保育所①
 組織作りへの指針

評価を受ける以前は、管理側
 と保育者、保育者と保育者が
 「周知していること」「以心伝心」
 で済ませることが多くあったが、
 第三者評価は、評価項目を一つ
 一つ確認することで、組織とし
 ての取り組み方の反省とともに
 重要性を再確認でき、今後の組
 織作りへの指針となった。

保育所②
 資質向上へ

職員をグループ分けし、評価
 項目もいくつかに分け検討を行
 い、さらに全体会議を持ち、検
 討する作業を繰り返すことによ
 り全体像が見え、マニュアルを
 作成し自己評価に繋げることが
 出来た。
 結果として職員の資質向上に
 役立った。



**ケアハウス
職員の共通認識**

自己評価を行うことで、全職員が、各部署に止まらず業務全般について共通認識を持つことができ、また、サービスの質や危機管理、地域社会との関係性に対してより理解を深めるなどの意識改革を図ることができました。

前の準備や作業過程で私たちは多くの議論をしました。そのプロセスにおいて私たちが持っていた固定的見方や方法を見直すきっかけとなりました。

**知的障害者更生施設
固定的な見方を見直す**

◆ **第三者評価を受審した施設の一覧です！** ◆

(平成20年7月現在)

○身体障害者療護施設 (旧法施設)				
No.	施設名	法人名	市町村	受審年度
1	誠光荘	誠光会	渋川市	H16
2	青空	前光会	前橋市	H17
3	イシノ療護園	豊延会	大泉町	
4	リハビリテーションセンター	県社会福祉事業団	伊勢崎市	
5	大地	二之沢愛育会	高崎市	H18
6	みらい	緑陽会	富岡市	
7	あけぼのホーム	恵の園	渋川市	

○知的障害者更生施設 (旧法施設)				
No.	施設名	法人名	市町村	受審年度
1	こがね荘	はるな郷	前橋市	H16
2	つつじヶ丘光の園	広済会	桐生市	
3	エルシーヌ藤ヶ丘	三和会	桐生市	
4	さくら園	三愛荘	渋川市	H17
5	かおる園	三愛荘	渋川市	
6	清泉園	三愛荘	渋川市	
7	はーとふるちハヤ	チハヤ会	みどり市	
8	みのわ育成園	はるな郷	高崎市	H18
9	あかぎ育成園	赤城会	渋川市	
10	しきしま	赤城会	渋川市	
11	並木路荘	高嶺会	渋川市	
12	あすなろ荘	はるな郷	高崎市	
13	めぐみの里	恵の園	渋川市	
14	かんなの里	かんな会	藤岡市	

○保育所				
No.	施設名	法人名	市町村	受審年度
1	毛里田保育園	毛里田睦会	太田市	H17
2	かしま保育園	伊勢崎かしま会	伊勢崎市	
3	たちばな保育園	福栄会	桐生市	
4	立正保育園	福栄会	桐生市	H18
5	赤城育心保育園	育恵会	前橋市	
6	総社第二保育園	清栄会	前橋市	
7	パンジー保育園	平和福社会	渋川市	H19
8	ふたば保育園	ふたば会	前橋市	
9	はちす保育園	伊勢崎ときわ会	伊勢崎市	
10	三野谷保育園	ひかり会	館林市	
11	みやさと保育園	宮郷会	伊勢崎市	
12	わかくさ保育園	いなり山会	伊勢崎市	

○軽費老人ホーム・ケアハウス				
No.	施設名	法人名	市町村	受審年度
1	うえたけ	植竹会	伊勢崎市	H18
2	ケアハウス前橋	ほたか会	前橋市	H19

※群馬県社会福祉協議会のHPで評価の結果を見ることができます。

→ <http://www.g-shakyo.or.jp/>

平成19年度事業報告・決算概要

国の経済・社会は大きな転換期を迎えています。福祉分野でも個人の尊厳や高齢者、障害者自立支援等の理念のもと、様々な改革が進められています。そうしたなかで、可能な限り地域社会で生活できる環境づくりが推進されています。

県社会福祉協議会では、地域福祉を担う中核団体として、「だれもが住み慣れた地域で安心して暮らせる地域社会づくり」を一層推進するため「安心・安全・福祉のまちづくり」に取り組みとともに、福祉人材の育成・確保に取り組み、良質できめ細やかな福祉サービスの提供に向け、様々な事業を展開してきました。以下、その概要を報告します。

■主な実施事業

1 地域福祉権利擁護事業

※平成20年度より「日常生活自立支援事業」に名称が変更となりました。

- ① 認知症高齢者等福祉サービス利用支援事業にかかる援助体制の整備
- ・ 11社協に事業の一部を委託

- ・ 地域福祉権利擁護事業新規の利用契約締結数は19年度52件
- ② 基幹社協生活支援員等連絡会議等の開催11回 延べ488名参加
- ・ 生活支援員新任・現任研修会の開催44名参加
- ・ 地域福祉権利擁護セミナーの開催53名参加

- ③ 専門相談員派遣事業の実施
- ④ 相談事業（障害者11番事業を含む）の実施
- ・ 一般相談：13、465件

2 福祉サービス苦情解決事業の推進

- ① 福祉サービス運営適正化委員会の開催 1回
- ② 福祉サービス運営適正化委員会選考委員会の開催 1回
- ③ 福祉サービス利用援助事業運営監視部会の開催 2回
- ④ 福祉サービス利用援助事業実施社協に対する訪問調査 3か所
- ⑤ 福祉サービス苦情解決部会の開催 6回
- ⑥ 苦情相談の受付件数72件（苦情

- ・ 法律専門相談：25件
- ⑤ 利用料の助成等の実施

住民税非課税世帯を対象に福祉サービス利用支援の機会を確保するため利用料の助成（1時間800円の利用料のうち500円の助成等）を行った。

3 福祉サービス第三者評価事業

- ① 評価機関の認証2機関
- ② 評価結果の公表 8施設
- ③ 運営委員会の開催 1回
- ④ 各種専門委員会の開催
- ・ 認証・公表専門委員会／研修企画専門委員会／調査・研究専門委員会／拡大合同委員会計5回
- ⑤ 評価調査者養成研修会・フォローアップ研修会・継続研修会開催3回 延べ155名
- ⑥ 群馬県版共通評価基準の策定
- ・ 特別養護老人ホーム・児童養護施設・訪問介護事業所
- ⑦ 特別養護老人ホーム第三者評価説明会・研修会 2回 延べ172名参加
- ⑧ 認証評価機関連絡会議の開催1回15名参加

- 51件、その他21件）
- ⑦ 福祉サービス苦情解決セミナーの開催 2回 37名参加

4 高齢者・児童の虐待防止事業

- ① 市町村社協児童福祉関係事業担当者研修会の開催 2回
- ② 虐待（児童・高齢者）を考える県民のつどいの開催 156名参加
- ③ ドメスティック・バイオレンス（DV）について考える県民のつどい 100名参加

- ⑧ 特別養護老人ホーム・児童養護施設・訪問介護事業所
- ⑨ 市町村社協トップセミナーの開催 135名参加
- ⑩ ふれあい・いきいきサロン活動数1、212カ所
- ⑪ 心配ごと相談所中央センター事業・相談件数66件
- ・ 巡回研修29回開催
- ⑫ 民生委員制度創設90周年記念群馬県民生委員児童委員大会の開催

5 地域福祉の推進

- ① 群馬県福祉後見センターの運営

6 生活福祉資金等貸付事業の実施

- ① 生活福祉資金貸付決定48件 38、775千円
- ② 離職者支援資金貸付決定4件 2、850千円
- ③ 要保護世帯向け長期生活支援資金貸付事業貸付決定4件 23、831千円

7 ボランティア・市民活動の推進と福祉教育の充実

- ① ぐんまボランティア・市民活動支援センターの運営
- ・ 運営委員会の開催 1回
- ② ボランティア情報・相談コーナーの設置運営
- ・ 月々金曜日午前9時～午後5時
- ③ ぐんまボランティアフェスティバルin中部ブロックの開催
- ・ 参加者3、500名
- ④ 団塊世代のボランティア活動支援
- ・ 傾聴ボランティア養成講座の開催 延べ16日間157名参加
- ・ 団塊世代におけるボランティア活動を考えるつどいの開催 1回64名参加
- ⑤ 高齢者・障害者基金・子育て支援基金・障害者スポーツ支援基金「地方分」助成
- ⑥ 福祉教育（学童・生徒のボランティア普及事業）
- ・ 社会福祉協力校指定18校
- ・ 地域指定社会福祉協力校3地区
- ⑦ 機関紙「ぐんまのボランティア」年2回発行
- ⑧ 台風9号に伴う南牧村災害ボランティアへの取り組み6日間13名参加
- ⑨ 新潟県中越沖地震災害における支援活動
- ・ 14日間8名参加
- ⑩ 介護等体験受入調整事業
- ・ 体験申込大学等51大学・短大 体験実施者41名 145施設で受入

- ④ 高額療養費資金貸付事業貸付決定8件 3、547千円

8 社会福祉施設の運営指導及び連絡調整

- ①施設関係団体の活動支援と連絡調整
- ②法人・施設運営指導106件
- ③福祉施設等管理者研修会の開催
1回
248名
- ④群馬県民間社会福祉施設整備資金貸付事業貸付決定3件 43、000千円

9 福祉マンパワーの確保と福祉関係職員の研修充実

- ①福祉人材無料職業紹介事業の実施
・就職者数 381件
- ・インターネット職業紹介システム(COOLシステム)の運用
- ・「福祉マンパワーニュース」の発行(年6回)
- ②福祉人材確保相談事業の実施
相談援助件数 2、987件
- ③社会福祉施設の福利厚生事業
群馬県民間社会福祉施設等職員共済制度の実施 422法人14、137名加入
- ④福利厚生センター事業の実施
・98法人・198事業所
・3、148名加入
- ⑤福祉関係従事者に対する研修の企画・実施
直営研修コース13コース、延べ開催日数110日 研修参加者延べ4、012名
- ⑥介護支援専門員実務研修受講試験の実施
・受験者数 2、205名
・合格者数 473名

⑦介護職員確保対策事業の実施

- ・12月から専門相談員1名を配置
- ・事業者・介護福祉士養成校等への訪問回数78件
- ・介護職員等PRサイト(ホームページ)の開設・運営
- ・専門相談日の開設(毎月第1・第3木曜日及び第2・第4火曜日)

⑧社会福祉事業に従事しようとする者への説明会等の実施

- ・福祉ハートフルフェアの開催
就職面接会参加事業所60事業所 309名参加
- ・栃木・群馬2県合同福祉のしごと総合フェアの開催
施設48事業所(内・県内施設20事業所) 求職者69名

10 広報活動の充実、福祉シンクタンク機能の整備

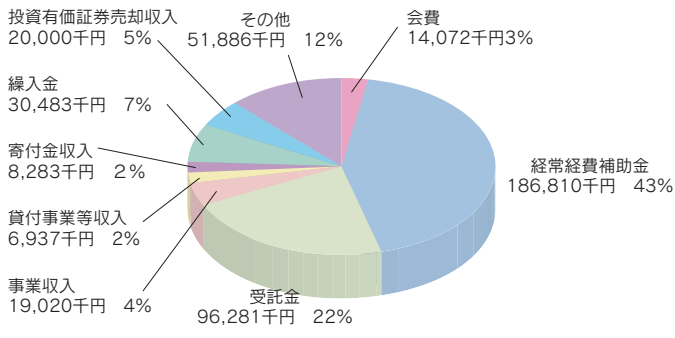
- ①広報紙「福祉ぐんま」発行年4回
- ②ホームページの運用
- ③メールマガジンの発行
- ④視聴覚機材の無料貸出
- ⑤事務局職員の研修
- ⑥映画「ふみ子の海」上映運動の推進

11 その他の事業

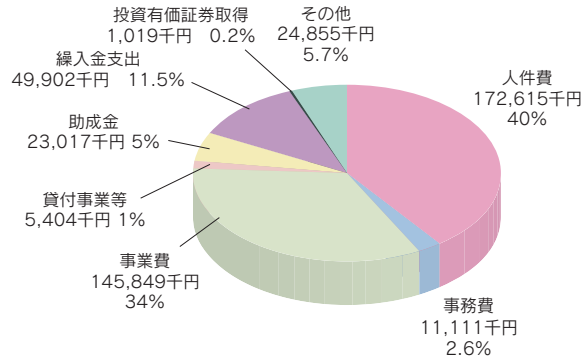
- ①研修保養施設「観山荘」経営
宿泊利用人員10、870名
- ②社会福祉振興基金事業の実施
- ③福祉バス「愛の募金号」の運行
- ④交通遺児・保護児童就学援助金の給付

決算 1 一般会計資金収支計算書

収入 433,772千円

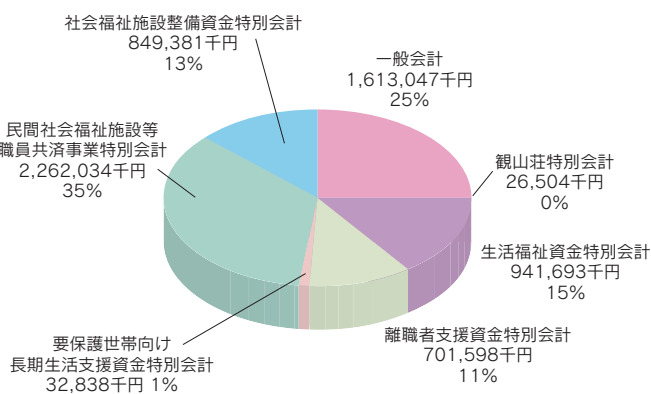


支出 433,772千円

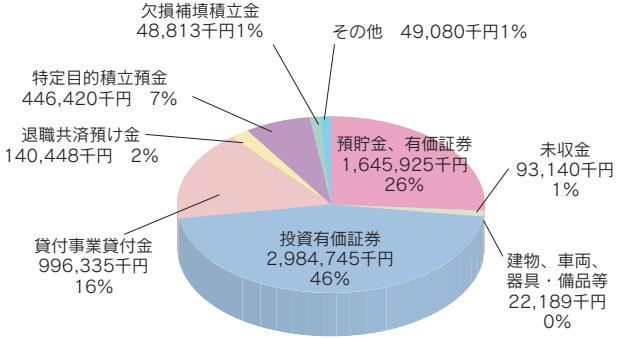


2 資産構成 (総資産額6,427,095千円)

会計別



科目別



社会福祉協力校



24期・高崎市立長野小学校(3年目)

今日は運動会のお知らせとかいろいろの折り紙をありがとうございました。留守にしないでお会いできなくてごめんなき習がね。鼓笛隊の練習がよく聞こえますよ。運動会には皆さんのがんばりを見たいと思っておりますが、親戚の病気の人がおるのでちよつとお約

本校は、高崎市市街地の北西に位置し、町の中心を東西に県道前橋・安中・富岡線が通り、その県道沿いに住宅が広がっている。西は鳥川、東は井野川が流れ、自然環境にも恵まれ、田畑も多く、歴史的名跡も多く保存されています。

福祉教育の目標「ふれあい」
児童が、地域の方々、お年寄り、外国の方々、他の学年の児童、幼稚園・保育園の園児などたくさんの人々との「ふれあい」を通して、交流を深めよい関係を築いていくこと。

クラスや学年の友だちだけでは得られない貴重な「ふれあい」の中から、挨拶、態度、礼儀など社会生活にとって大切なルールを学び取り、活かしていく中で、支え合うことの大切さを知り、共に生きようとする態度を培うことが目標です。

取り組み内容の紹介
社会福祉協力校としての一歩大きな取り組みは、地域の独居老人との交流です。区長会とタイアップして、運動会への招待状を送ります。また、年末には手紙と共に植物を持って独居老人宅を一軒一軒まわってプレゼントを渡します。毎回、お年寄りからの心温まるお返事をいただき、活動は盛り上がります。

(お返事の一例) ○○○さんへ



(担当 大山玲子)

東でできませんのよ。○○○さんは6年生で最後の運動会になるのね。どうぞ楽しい運動会にしてくださいね。——略——

また、米作りや枝豆づくりで、地域の方々に苗作りや種まきから作り方を教えていただきました。交流を深めています。

さらに、「おいでよ学校へ」で幼稚園・保育園の園児との交流を深めることにも取り組みました。

3年間の成果と課題
特別活動を中心として「総合の時間」に取り組みの重点化を図り、学校内の活動にとどまらず、地域の区長会や民生委員とのタイアップを心がけて活動を行ってきました。児童の活動に幅が広がり、地域との交流がますます密になりました。何よりも地域の方々に支え、協力していただいたことが意義のあることでした。熱心に協力してくださる地域性を、これからも生かせることによりよい活動が継続できると思っています。



〔第17回全国ボランティアフェスティバルにいがた～ボランティア 深まるきずなに トキめいて〕

たび重なる災害に見舞われた新潟県で、その経験も踏まえつつ、日常的なボランティア・市民活動のあり方を幅広く考え、議論を深める場とするため、「ボランティア 深まるきずなに トキめいて」を大会テーマに掲げ、「第17回全国ボランティアフェスティバルにいがた」を開催します。

〈開催内容及び会場〉

会場 朱鷺メッセ、新潟ユニゾンプラザ、新潟市総合福祉会館	
9月20日(土)	<ul style="list-style-type: none"> ■分科会 <13:30～16:30> 「福祉・保健・医療」「災害」「まちづくり・文化・環境」「子育て・教育」「国際交流・協力」の5分野計22の分科会 ■交流会 <18:00～19:30> (朱鷺メッセ) 参加者の方々の交流の場

会場 朱鷺メッセ	
9月21日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ■ボランティア推進フォーラム <9:00～12:10> ◆式典 <9:00～9:40> ボランティア功労者厚生労働大臣表彰、ボランティア・市民活動報告等 ◆リレートーク <9:45～11:00> 新潟県中越、中越沖地震のボランティア活動を題材に、被災者と支援者がそれぞれの想いを語る ◆大会総括 <11:20～11:55> 分科会の討議要旨を、重要な課題や提言を中心に、5つの分科会分野ごとに報告 ◆引継式 <11:55～12:10> 時期開催県(愛媛県)へ引継

会場 朱鷺メッセ	
大会両日	<ul style="list-style-type: none"> ■ふれあい広場 <10:00～16:00> 県内の様々なボランティアの紹介、体験等

〈お問い合わせ先〉

第17回全国ボランティアフェスティバルにいがた実行委員会事務局
〒950-8575 新潟市中央区上所2丁目2番2号 新潟ユニゾンプラザ3階
(新潟県社会福祉協議会内)
TEL:025-281-5805 FAX:025-281-5806 URL:http://www.vf-niigata.com/

〔ぐんまボランティアフェスティバル 西部ブロック〕

平成18年に実施した「第15回全国ボランティアフェスティバルぐんま」の成果をより確実なものとし、県下における地域ボランティア活動の一層の振興を図るため、ボランティア関係のメイン行事として県下各地域(5ブロック)持ち回りにより、群馬県独自のボランティアフェスティバルを開催し、県内のボランティア、NPOなどの交流・研究の場を設け、新たなネットワークの構築・形成を目的として実施します。

第2回目となる本年は高崎市を中心とした西部ブロックにて本フェスティバルを開催します。

●期日 10月18日(土)

【ふれあい広場】<10:00～14:00>

場所 高崎もてなし広場

内容 ボランティア活動紹介、模擬店、芸能広場、抽選会など

【分科会】<13:00～15:00>

場所 高松中学校、地域医療センター

内容 ふれあい・いきいきサロンなど6分科会を予定

【記念講演】<10:30～12:00>

場所 地域医療センター

演題 「家族の絆」

～感謝の気持ちを言葉にしよう～

講師 荒木由美子さん



〈お問い合わせ先〉

ぐんまボランティア・市民活動支援センター

〒371-8525 群馬県前橋市新前橋町13-12 群馬県社会福祉協議会内

TEL:027-255-6111 FAX:027-255-6444

— 社会保険庁からのお知らせ —

「ねんきん特別便」 年金記録の確認にご協力ください。

4月からすべての年金受給者に、6月から加入者の方にお届けします

○ **緑色の封筒でお届けします。**

- ・年金を受けておられる方 = 本年4月から5月までの間
- ・現役加入者の方 = 本年6月から10月までの間

○ **年金記録のご確認をお願いいたします。**

- ・年金記録に「もれ」や「間違い」がないか十分にご確認をお願いします。
- ・「もれ」や「間違い」がある場合も、ない場合も、必ずご回答くださいますようお願いいたします。

※ 年金記録が変われば、正しい年金額をお受け取りいただけることとなり、年金額が増える可能性が高いので十分にご確認ください。

【年金支給額が増えた例 (A男さん75歳の場合)】

13か月分のお勤め期間の記録もれが見つかり、これからの年金受給額が年額で約5万円増え、過去に受給できた年金として約53万円をまとめて受け取れました。

※ **3月までに青色の封筒で「ねんきん特別便」が届いた方は、年金記録にもれがある可能性が高い方です。**

- ・まだ回答をいただいていない方がいらっしゃいますので、ご注意願います。
- ・まず、「ねんきん特別便専用ダイヤル」にお電話ください。
- ・結びつく可能性のある記録についての具体的な情報を提供します。

○ **まわりの方にも呼びかけてください。**

ご家族の方などに「ねんきん特別便」が届いたら、過去の職歴について一緒に記憶をたどってみるなど、多くの方からご回答をいただけるよう、ご協力をお願いします。(ご家族でも、お一人お一人に届く時期は異なります。)



3月までの青色の封筒



6月から10月の緑色の封筒

ご質問・お問い合わせは

○「ねんきん特別便専用ダイヤル」



0570-058-555

※ IP電話・PHSからは「03-6700-1144」にお電話ください。

※ 一般の年金相談は、「ねんきんダイヤル」0570-05-1165まで。

月～金曜日：午前9時～午後8時 ※左記以外の受付日時については、社会保険庁HP
 第2土曜日：午前9時～午後5時 (http://www.sia.go.jp/)でご案内しております。

○お近くの社会保険事務所・年金相談センター

- ※ 都道府県社会保険労務士会でも無料相談を行っています。
- ※ 詳しくは、HP(<http://www.sia.go.jp/>)まで。

ひとりでも
悩まずに…

○心配ごと相談所中央センター

群馬県社会福祉協議会では、専任相談員による「心配ごと相談所中央センター」を開設しております。日ごろ心配に思っていること、法律に関するお悩み等ございましたらお気軽に相談ください。(毎週木曜日午前10時～12時 電話予約が必要です)

○障害者110番

県内に居住される障害をお持ちのかた等の相談に応じています。

■一般相談：障害をもった方々の安心した生活を支援するために、生活全般にわたるさまざまな相談に応じています。(月)金 九時～十七時

■法律相談：財産侵害、相続、金融、消費、契約等に関する相談。職場での雇用、勤務条件、施設での権利侵害に関すること等、法律問題に関することに弁護士が対応します。(毎月第一、三火曜日 14時～16時 電話予約が必要です。)

いずれも、「ぐんま地域福祉権利擁護センター」(群馬県社会福祉協議会運営) 前橋市新前橋町十三の十二 連絡先027-255-6226まで

介護職員等確保対策事業 のお知らせ

求人・求職のベストマッチな
職業紹介のために

本会では、昨年の12月から、特別養護老人ホーム等の介護職員や看護職員の確保対策の一環として、専門相談員を配置し、求人・求職等のお手伝いをしています。
是非ご利用ください。

求人関係

(介護保険事業所等)

下記の事業所の住所地の取扱地域のセンター・バンクに求職の上登録をしてください。
インターネットでも事業所登録ができます。

<http://www1.fukushi-work.jp/kyujin/>

ご意見・ご要望は、お電話か相談員が事業所を訪問した際にお申しつけください。

求職関係

(介護職員就職希望者)

最寄りの窓口にご来所のうえ、求職者登録をしてください。
求人検索・紹介状の発行等のサービスがうけられます。
インターネットでも求人情報検索ができます。

<http://www.nw.fukushi-work.jp>

※専門相談を実施していただきます。お気軽にご利用下さい。(予約は不要です)

①群馬県福祉マンパワーセンター：
毎月第1・4木曜日 午後1時から4時

②高崎市福祉人材バンク：
毎月第2火曜日 午後1時から4時

③太田市福祉人材バンク：
毎月第3火曜日 午後1時から4時
(専門相談員が丁寧に対応いたします)

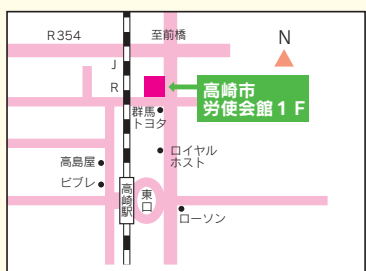
◎本事業についての詳細は、群馬県社会福祉協議会ホームページよりお入り下さい

く福祉人材職業紹介窓口は県内に3カ所あります。お近くの窓口へご相談下さい

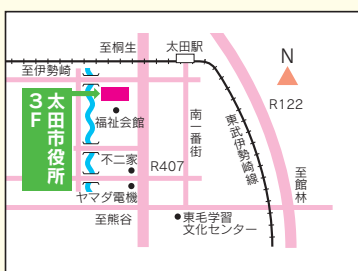
.....アクセスマップ.....



対象地域 前橋市、伊勢崎市、沼田市、渋川市、富士見村、榛東村、吉岡町、中之条町、長野原町、嬭恋村、草津町、六合村、高山村、東吾妻町、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町、玉村町



対象地域 高崎市、藤岡市、富岡市、安中市、吉井町、上野村、神流町、下仁田町、南牧村、甘楽町



対象地域 桐生市、太田市、館林市、みどり市、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町

群馬県福祉マンパワーセンター

〒371-8525 前橋市新前橋町13-12
(群馬県社会福祉総合センター6階)
TEL 027-255-6600 FAX 027-255-6040
メールアドレス: gum-jinzai@g-shakyo.or.jp
利用時間: 9時~17時(月~金)・土・日・祝日はお休み
受付時間: 9時~11時30分
13時~17時

高崎市福祉人材バンク

〒370-0045 高崎市東町80-1
高崎市労使会館1階
TEL 027-324-2761
FAX 027-320-8378
メールアドレス: tsk-jinzai@oboe.ocn.ne.jp
利用時間: 9時~16時(月~金)
土・日・祝日はお休み
受付時間: 9時~11時30分
13時~15時30分

太田市福祉人材バンク

〒373-8718 太田市浜町2-35
(太田市役所3階)
TEL・FAX 0276-48-9599
メールアドレス: ota-jinzai@adagio.ocn.ne.jp
利用時間: 9時~17時(月~金)
土・日・祝日はお休み
受付時間: 9時~17時

研修パックプラン

平日 1泊2食付 **¥8,500**

研修、総会、各種大会へ
囲碁、将棋、カラオケ
大会なども大歓迎

研修室料込み

10名様以上 (税・サ・入湯浴込み)
群馬県社会福祉協議会経営 **観山荘** 〒377-0102 渋川市伊香保町伊香保32番地
TEL.0279-72-2073
ホームページでもご覧いただけます。URL <http://www.kanzansou.jp/>

特典

- ①研修時、コーヒー無料サービス(お茶菓子付き)
- ②パソコン20台・プロジェクター無料貸し出し
- ③県内在住65歳以上の方は更に500円引き
- ④休前日・シーズン中は1,000円増



黄金の湯
かけ流し



【表紙の答】びん蓋開け
ペットボトル、びんのふた(直径約4~9cm)も
これ一つで開けられます。



詳しくは福祉用具・住宅モデルルーム展示場へ
前橋市新前橋町13-12 群馬県社会福祉総合センター地下1階
TEL 027-280-4108 FAX 027-280-4109